

景観配慮協議申出書

令和3年9月21日

(宛先) 鎌倉市長

住所 東京都千代田区大手町1-7-1

届出者 氏名 読売新聞東京本社 事業局 エンターテインメント部

印

電話

住所 神奈川県鎌倉市大町1-16-19

代理人 氏名 株式会社ゆう設計アトリエ

三宮 健司 印

電話 0467 (24) 2458



〔法人その他の団体にあつては、その主たる事務所の所在地、名称及び代表者氏名を記入してください。〕

次のとおり申し出ます。

土地利用類型 の 名 称	新都市機能導入地、沿道住宅地		
景 観 地 区	<input type="checkbox"/> 内 () <input checked="" type="checkbox"/> 外		
設 計 者	住 所	神奈川県鎌倉市大町1-16-19	
	氏 名	株式会社ゆう設計アトリエ 三宮 健司	電話 0467(24)2458
行 為 の 場 所	地名地番	鎌倉市寺分字陣出8-1	
	用途地域	工業専用地域	防火地域 <input type="checkbox"/> 防火 <input type="checkbox"/> 準防火 <input checked="" type="checkbox"/> 指定なし
	そ の 他	<input type="checkbox"/> 風致地区 <input type="checkbox"/> 歴史的風土保存区域 <input type="checkbox"/> その他 ()	
行 為 の 種 類	建 築 物	<input checked="" type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/> 移転	
	開 発	<input type="checkbox"/> 土地の区画の変更 <input type="checkbox"/> 土地の形質の変更	
特 定 地 区	<input type="checkbox"/> 内 (<input type="checkbox"/> 由比ガ浜 <input type="checkbox"/> 由比ガ浜中央 <input type="checkbox"/> 鎌倉芸術館周辺地区) <input checked="" type="checkbox"/> 外		
行 為 の 期 間	着手予定	令和3年12月1日	完了予定 令和3年12月15日

(裏)

建築物の概要	用途	仮設興行場 (サーカス)			
	最高の高さ	19.600m	階数	地上 1 階	地下 階
	構造	サスペンション膜構造			
	敷地面積	11,246.5 m ²			
	建築面積	3737.85m ²	届出以外の部分	0m ²	合計 3737.85m ²
	延べ面積	3309.64m ²	届出以外の部分	0m ²	合計 3309.64m ²
	屋上に設置する建築設備の種類及び高さ	<input type="checkbox"/> 高架水槽 m		<input type="checkbox"/> その他 m	
	色彩の変更部分とその面積	面積 m ²			
仕上材	屋根	キャンバス張り	色彩	屋根	7.5R 5/14 (赤) N9.5 (白)
	外壁	キャンバス張り		外壁	7.5R 5/14 (赤) 7.5PB 4/20(青) N9.5 (白)
開発行為の概要	開発区域の面積	m ²			
	行為の目的	分割 (区画) (最小区画面積 m ²)	その他 ()		
	行為の内容	切土 (m ²)	盛土 (m ²)	その他 ()	

(注) 1 仕上材欄には、表面仕上の材料をできるだけ詳しく記入してください。

(例：日本瓦、波型スレート、小口タイル等)

2 色彩欄には、マンセル表色系を記入してください。

3 この届出書には、景観配慮に関する見解書及び鎌倉市都市景観条例施行規則別表第1に掲げる図書を添付してください。

景観配慮に関する見解書

1. 共通事項

行為計画地周辺の景観の特徴（景観的特性、景観資源等）をつかみ、記入する。

着 眼 点	計 画 地 周 辺 の 現 況 等 記 入 欄
地 域 的 特 徴	JR東日本の施設跡地は現在は広大な空き地となっていて、将来の鎌倉の拠点となるべく地域として期待されている地域
まち並みの連続性	深沢住宅、多目的スポーツ広場、マンション、低層から中層の建築が立ち並ぶ
周辺建物のデザイン	戸建て住宅から店舗、団地など様々な形態、規模、デザインの建物が立地している状況
眺 望 景 観	計画地の周囲には空き地が広がり、体操クラブの建物やモノレールおよび湘南深沢駅などが望める
景 観 資 源	遠望が利き、かつての入江と鎌倉の山や谷の形状が感じられる景観

2. 建築物の建築

1で整理した内容、土地利用類型別の方針及び基準を踏まえ計画し、各項目の自己評価を行い、配慮した事項を記入する。

項 目	自 己 評 価	配 慮 事 項 記 入 欄
配 置	○	大きなテントを中心に、周囲に低いコンテナ群を配置
形 態 意 匠	○	圧迫感のないドーム状に近い形状
色 彩	□	コンテナやメインテントの目立つ色や大きさが、その同色系の仮囲いを分散配置することで、少しでも軽減するよう配慮。
建 築 設 備	○	基本的に周辺からは見えない位置に設備を配置
外 構 緑 化	×	3ヶ月間の仮設という性格上、緑化の計画は無し

3. 開発行為

1で整理した内容、土地利用類型別の方針及び基準を踏まえ計画し、各項目の自己評価を行い、配慮した事項を記入する。

項 目	自 己 評 価	配 慮 事 項 記 入 欄
造 成		
擁 壁		
敷き際・緑化		